

ライドシェア（地域乗合交通事業）実施地域の視察参加報告

目的	湘南地区交通不便地域の解消のための手段を検討するため、他の活動地区のボランティアによる実施事例の現状を視察する。
日時	平成30年12月25日（火）
参加者	まちぢから協議会・・・後藤会長、渡辺様の2名 湘南地区自治会メンバー・・・中島地区(高梨会長他2名) エクシード茅ヶ崎(原)の4名。 NPO ちがさきサポートセンター・・・松永代表他2名 ブランチ2（ダイワリース）1名
視察場所	横浜市菊名、「おでかけバス」
視察内容	バスの運行状況確認とバスへの試乗及び関係者（ドライバー他）からの聴取。
実施団体名	「港北南部コミュニティバス実現をめざす市民の会」
現場面会者	ドライバー2名（秋山氏、他1名） 添乗者1名
実施開始年	数年の検討機関を経て8年前に運行開始（ドライバーの方からの聴取）
運行内容	主な運行ルート・・・菊名駅—篠原八幡神社—OK ストア—菊名池郵便局—錦が丘公園— 港北公会堂（区役所）—菊名駅 運行日・・・・・・・・・・毎週火曜日のみ。 運行時間帯・・・・・・・・1日7便循環（9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時） 所要時間と停留所・・・一周約45分 停留所数31箇所 使用バス・・・・・・・・・・*定員7～8名乗り（ドライバー1名、添乗員1名、お客様5～6名） *個人及び地元企業所からの無料一時提供（例、地元葬儀社）
運営関係	人員構成 *ドライバー6名 添乗員約15名 運営管理者 約8名 運転は無理だが添乗者はできるとのことでメンバー加入者あり。 *運転者と添乗者は2か月に一度スケジュールの見直しを行う。 会員数、会費・・・・・・・・*会員約80名、 *年会費1,000円、その他（市民からのカンパ、助成金） 運賃・・・・・・・・・・無料（年会費のみ）1日何回乗降しても可
試乗結果	始発から自治会メンバーが2名ずつ途中交代で試乗。（ドライバー、添乗者からの聴取あり） <ul style="list-style-type: none">・11時始発車に試乗、始発時にはお客様なし、ドライバー、添乗者、視察者2名のみ・駅前出発後、間もなく狭い坂道が多い戸建ての古い住宅地が続き通行困難箇所が目立つ。・後期高齢者と思われる杖を携えた男性が乗車するとき添乗者が手厚く支援されていた。・二人目のお客は女性の高齢者だったが歩道側からでなく車道側から添乗者に支援されながら乗車した。（高齢者が多いため座席移動が難しく添乗者が安全を確認して乗車を補助）。・道路幅が狭いため車が離合できない場所があり譲り合いが必要。（運転手、添乗者の連携） 地元の車は事情を把握し譲ってくれるが地元以外の人とのコミュニケーションが難しいとのこと。・車両にはカンパ用BOXが置かれていた。 一般の方の試乗者は歓迎で無料だが乗車代として金銭を入れてくれる方もいるとのこと。・1日の利用者は30人前後でスーパーに週一回の買い物に利用する高齢者もいるとのこと。・荷物の多い方には自宅前まで添乗者が行って手助けする。（予め電話が入る場合あり）。・11時発に試乗、11時50分出発場所に戻る（実所要時間50分）・ドライバーは安全運転で添乗者は気遣い、心遣いに終始し運行は無事終了した。感謝。

- ・12時、自治会メンバー4名は帰宅したが、後藤会長、渡辺さん達は午後のバスに試乗予定で別行動となる。



おでかけバス



停留所

視察に参加して

- ①地域住民の高齢者移動方法運営に対する理解、支援、協力が最も必要
- ②ボランティア（特にドライバー）の高齢化による健康管理、運転技術検証等の確認方法。
- ③ボランティアの方には負担が多くなるが一週間に一度の運行なので今後運行日が更に増えると地域からの知名度も増しボランティアへの協力者が更に増えると思われる。
- ④高齢者が殆どなので添乗者の必要性を感じた。
- ⑤運営の継続、維持の要因にはドライバー、添乗者、運営管理者の方々の連帯意識と惜しめないボランティア精神が感じられた。
- ⑥湘南地区での運転を実現させるためには運行ルートを含め数多くのワークショップ開催の必要性を感じた。

2018、12、28 エクシード茅ヶ崎自治会 原